

市民アンケート調査・分析（クロス集計）

・前回委員会で指摘されたアンケート結果に対する分析について把握を行う。
確認事項は以下のとおりである。

1. 指摘事項の確認

指摘事項
① 年齢別（問 2）×住宅関連施策の重要度・満足度（問 20）を把握する。
② 困っている点（問 17）の詳細な分析を行う。
③ 若者の定住の可能性について把握するため、「現在の住まいに住み続けたいか（問 21）」×年齢別（問 2）の把握を行う。
④ U ターン、I ターンをした人が本市を評価しているかを把握する。（年齢層にこだわらず U・I ターンの分析を行う）。
⑤ アンケート自由回答欄の回答者の属性を把握する。
※丹波の森協会・丹波の森研究所での神楽・小川地区で I・J ターンの調査を参考とする。

2. 分析結果

(1) 年齢別×住宅関連施策の重要度・満足度

NO	項 目	年齢別による回答
①	子育て世帯への支援	・満足度では 10・20 代が低い。 ・重要度では 10～40 代が高くなっている。
②	高齢者・障がい者への支援	・満足度では 70 代以上が低い。 ・重要度では 70 代以上が高く、年齢が下がるに従い低くなる。
③	生活困窮者への支援	・満足度では 60 代が低い。 ・重要度では 70 代以上が高い。
④	地域による防犯活動の推進	・満足度では 60 代が低い。 ・重要度では 30 代が高い。
⑤	災害に強いまちづくり	・満足度では 60 代が低い。 ・重要度で 70 代以上が高い。
⑥	地域のコミュニティ活動への支援	・満足度では 10・20 代が 2.0 と高いものの年齢層での目立った傾向はない。 ・重要度では 70 代以上が高い。
⑦	既存住宅の改修への支援	・満足度では 60 代が低い。 ・重要度では 50 代が高い。
⑧	空き家等の利活用への支援	・満足度では 70 代以上が低い。 ・重要度では 70 代以上が高い。 ・満足度については、年齢が上がるにつれて低下する傾向にある。
⑨	自然環境と調和したまちづくり	・満足度では 70 代以上で 1.89 と低い。 ・重要度では 60 代・70 代以上が特に他の年代に比べ高い。
⑩	鉄道やバスなどの地域交通の充実	・満足度では 70 代以上が低い ・重要度では 70 代以上が高い。
⑪	医療・福祉施設の充実	・満足度では 50 代が低い。 ・重要度では 50 代、60 代、70 代以上が高い。
⑫	良好な環境の住宅用地の創出	・満足度では 30 代が低い。 ・重要度では 10・20 代が高い。
⑬	コロナ後の多様な働き方・暮らし方への対応	・満足度では 30 代が低い。 ・重要度では 70 代以上が高い。
⑭	三世帯同居・近居への支援	・満足度では 30 代で低く、10・20 代で高くなっている。 ・重要度では 50 代で 2.17 と高くなっている。

※) 住宅関連施策については、地域別の結果も整理している。

(2) 困っている点(問17)の詳細な分析

全体の構成比との比較を行う。

① 居住年別(問1)

NO	項 目 (問17)	居住年別による回答
①	家が狭く住みにくい(部屋数が足りない)	居住年が少ない方が高い値となっている。
②	家が広すぎて掃除等の管理に苦勞する	居住年が多い方が高い値となっている。
③	必要となる駐車スペースを確保できない	居住年が少ない方が高い値となっている。
④	バリアフリー化がされていない(段差や階段があり、危険である)	居住年が多い方が高い値となっている。
⑤	台所や浴室など住宅設備の老朽化が進んでいるが、リフォーム資金が足りない	10年以上～20年未満で12.0%と高く、それ以外では3～4%程度となっている。
⑥	リフォームの方法やリフォーム業者がわからない	10年以上～20年未満で12.0%と高く、それ以外では3～4%程度となっている。
⑦	住宅の耐震性に不安があるが、改修や建替えの資金が足りない	居住年が多い方が高い値となっている。
⑧	住宅の防犯設備に不安がある	居住年が多いほど高い値となっている。
⑨	緊急時に連絡をとれる人が身近にいない	居住年が少ない方が高い傾向にある。
⑩	周囲に空き家が増えていること	居住年が少ない方が高い傾向にある。
⑪	大雨などによる水害や土砂災害など、防災面で不安がある	5年～10年未満で33.8%と高く、5年未満で20.4%と低くなっている。
⑫	買い物や通院時の交通手段が不便である	10年～20年未満、20年～30年未満とともに30.3%と高く、5年～10年未満で17.5%と低くなっている。
⑬	公園や広場など、子どもが遊べる場所が不足している	居住年が少ない方が高い傾向にある。
⑭	学校が遠い、進学塾が不足しているなど、教育環境に不満がある	居住年が少ない方が高い傾向にある。
⑮	隣近所との付き合いがなく、地域コミュニティとの関係が希薄となっている	5年未満で7.1%と高く、5年～10年未満で3.8%と低くなっている。

(3) 「現在の住まいに住み続けたいか (問 21)」 × 年齢別 (問 2)

・10・20代では「現在の居住地に住み続けたい」は47.2%、「どこかに移りたい」は45.8%とほぼ同数となっているが、年代が上がるに従い、定住意向は高まり、70代以上では79.5%が「現在の居住地に住み続けたい」と回答している。

(4) U・I ターン者に関する分析

問 10「今のお住まいは生まれた家と同じ場所ですか」の設問の選択肢で、「一度離れたが生まれた場所に戻った」がUターン、「生まれた場所とは違う」がIターンとみなして他設問とのクロス集計を行う。

項目	分析結果
① これからも現在の居住地に住みたいですか (問 21)	・U・I ターン者よりも、生まれた時からの居住者の方が「これからも現在の居住地に住み続けたい」との意向が強く、当地との関わり方の深い方が、定住志向が高い結果となっている。
② お住まいの地域別 (問 1)	・柏原地域は「生まれた場所が違う＝I ターン」が最も多く、78.1%となっている。最も少ない青垣地域でも55.3%と過半数を占めている。
③ 現在居住している上で困っていること (問 17)	・「生まれた時からの居住者」にくらべて不安の高い項目としては、 「買い物や通院時での交通手段が不便である」、「家が狭く住みにくい」、「必要となる駐車スペースが確保できない」といった居住施設の問題、「緊急時に連絡を取れる人が身近にいない」、「隣近所と付き合いがなく地域コミュニティとの関係が希薄になっている」といったコミュニティに関する課題、また「大雨などによる水害や土砂災害など防災面で不安である」の防災面に関する課題、がある。
④ 移住・定住策について (問 24)	・「生まれた時からの居住」が、「今後も移住策を実施すべきである」、「移住策はあまり実施してほしくない」のいずれも他よりも高い値となっている。

(5) 自由回答者の属性に関する分析

項目	地域別	年代	居住年別	定住意向	定住・移住策
① 住宅改修・補助	・氷上が高い	・10・20代が高い	・5～10年、10～20年未満が高い	・「住み続けたい」が高い	・「あまり実施してほしくない」が高い
② 空家・定住促進	・地域的な傾向なし	・30代、70代以上が高い	・5年未満、10～20年未満が高い	・「住み続けたい」が高い	・「実施すべき」が高い
③ 子育て支援	・山南、市島が高い	・30、40代が高い	・5年未満、5～10未満が高い	・「移りたい」が高い	・「実施すべき」が高い
④ 自治会・コミュニティ	・氷上、市島が高い	・40代が高い	・10～20年未満、20～30年未満が高い	・「移りたい」が高い	・全体と同様
⑤ セーフティネット対応	・氷上が高い	・30代、70代以上が高い	・5～10年未満、30年以上が高い	・「住み続けたい」が高い	・両者ともに高い
⑥ 環境対策	・氷上、春日が高い	・60代、70代以上が高い	・5年未満、20～30年未満、30年以上が高い	・「住み続けたい」が高い	・「実施すべき」が高い
⑦ 地域交通	・春日、市島が高い	・70代以上が高い	・5年未満、20～30年未満が高い	・「住み続けたい」が高い	・「実施すべき」が高い
⑧ 土地利用	・柏原が高い	・30代、60代が高い	・5年未満、5～10年未満が高い	・「移りたい」が高い	・「あまり実施してほしくない」が高い
⑨ 防災	・市島が高い	・60台、70代以上が高い	・30年以上が大半	・「住み続けたい」が高い	・「あまり実施してほしくない」が高い
⑩ 都市施設の充実	・柏原が高い	・10・20台、60代が高い	・5年未満が高い	・全体と同様	・「どちらともいえない」が高い
⑪ 市政・施策	・地域的傾向なし	・30、40代が高い	・5年未満、5～10年未満が高い	・「移りたい」が高い	・「実施すべき」が高い

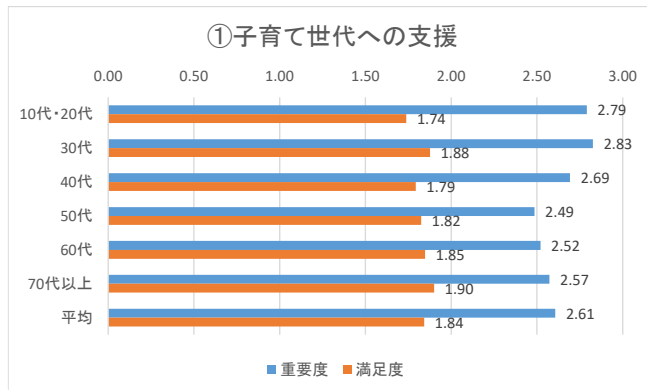
3. 集計結果

(1) 住宅関連施策

1) 年齢別（問2）×住宅関連施策（問20）

① 子育て世代への支援

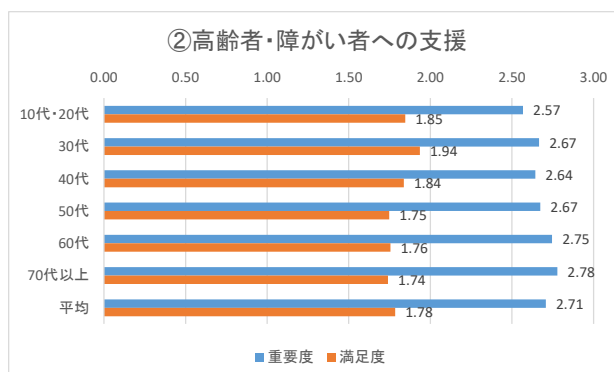
「子育て世代への支援」では、満足度では10・20代で1.74と低く、重要度では30代が2.83と高く、さらに40代までの年代で高くなっている。



	重要度	満足度
10代・20代	2.79	1.74
30代	2.83	1.88
40代	2.69	1.79
50代	2.49	1.82
60代	2.52	1.85
70代以上	2.57	1.90
全体	2.61	1.84

② 高齢者・障がい者への支援

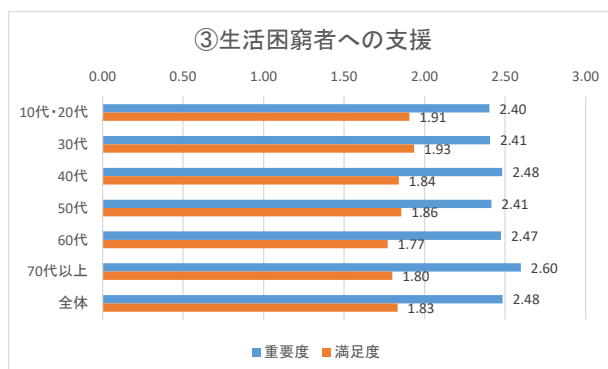
「高齢者・障がい者への支援」では、満足度では70代以上で1.74と低く、年齢が下るに従い高くなる傾向にある。重要度では70代以上で2.78と高く、年齢が下るに従い低くなる傾向にある。の年齢層で重要度が高く、満足度が高くなっている。



	重要度	満足度
10代・20代	2.57	1.85
30代	2.67	1.94
40代	2.64	1.84
50代	2.67	1.75
60代	2.75	1.76
70代以上	2.78	1.74
全体	2.71	1.78

③ 生活困窮者への支援

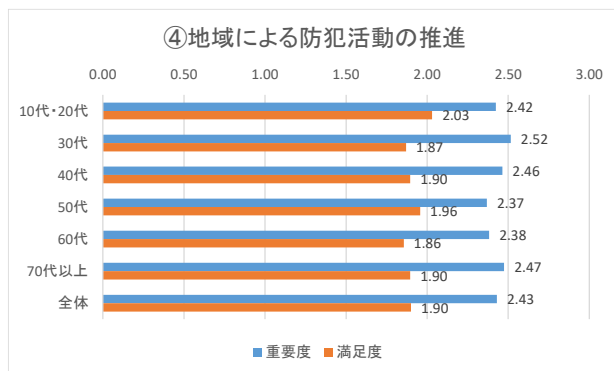
「生活困窮者の支援」では、満足度では60代で1.77と低く、重要度では70代以上で2.60と高くなっている。



	重要度	満足度
10代・20代	2.40	1.91
30代	2.41	1.93
40代	2.48	1.84
50代	2.41	1.86
60代	2.47	1.77
70代以上	2.60	1.80
全体	2.48	1.83

④ 地域による防犯活動の推進

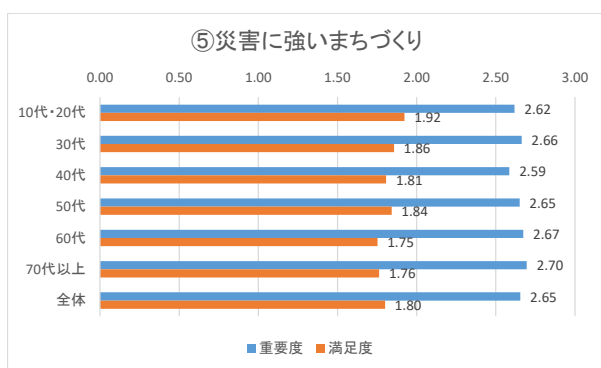
「地域による防犯活動の推進」では、満足度では60代で1.86と低く、重要度では30代で2.5と高くなっている。



	重要度	満足度
10代・20代	2.42	2.03
30代	2.52	1.87
40代	2.46	1.90
50代	2.37	1.96
60代	2.38	1.86
70代以上	2.47	1.90
全体	2.43	1.90

⑤ 災害に強いまちづくり

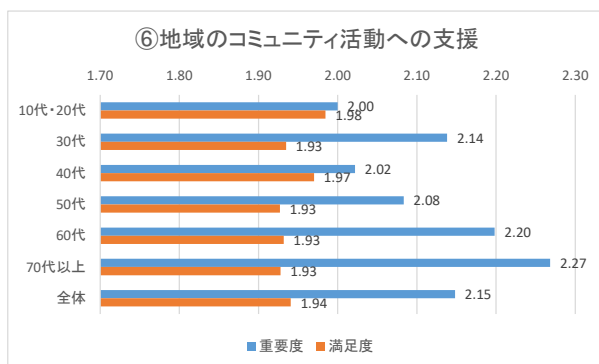
「災害に強いまちづくり」では、年齢層での目立った傾向はないが、満足度で60代が1.75と低く、重要度で70代以上が2.70と高くなっている。



	重要度	満足度
10代・20代	2.62	1.92
30代	2.66	1.86
40代	2.59	1.81
50代	2.65	1.84
60代	2.67	1.75
70代以上	2.70	1.76
全体	2.65	1.80

⑥ 地域のコミュニティ活動への支援

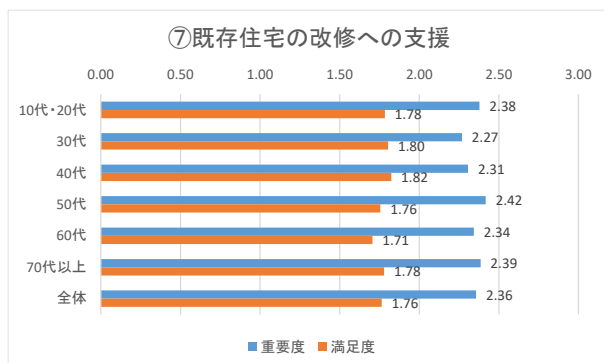
「地域のコミュニティ活動への支援」では、満足度では年齢層での目立った傾向はない（10・20代が2.0と高い）が、重要度では70代以上2.70と高くなっている。



	重要度	満足度
10代・20代	2.00	1.98
30代	2.14	1.93
40代	2.02	1.97
50代	2.08	1.93
60代	2.20	1.93
70代以上	2.27	1.93
全体	2.15	1.94

⑦ 既存住宅の改修への支援

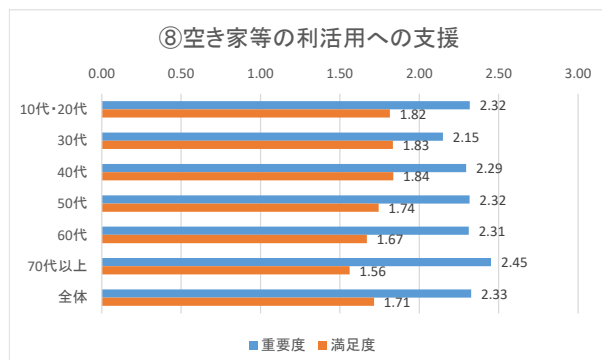
「既存住宅の改修への支援」では、満足度では60代で1.71と低く、重要度では50代が2.42と高くなっている。ただし、いずれも年代ごとで目立った差はない。



	重要度	満足度
10代・20代	2.38	1.78
30代	2.27	1.80
40代	2.31	1.82
50代	2.42	1.76
60代	2.34	1.71
70代以上	2.39	1.78
全体	2.36	1.76

⑧ 空き家等の利活用への支援

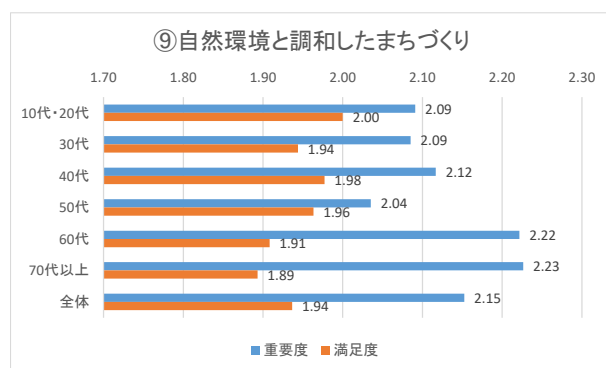
「空き家等の利活用の支援」では、満足度では70代以上1.56と低く、重要度では70代以上が2.45と高くなっている。満足度については、年齢が上がるにつれて低下する傾向にある。



	重要度	満足度
10代・20代	2.32	1.82
30代	2.15	1.83
40代	2.29	1.84
50代	2.32	1.74
60代	2.31	1.67
70代以上	2.45	1.56
全体	2.33	1.71

⑨ 自然環境と調和したまちづくり

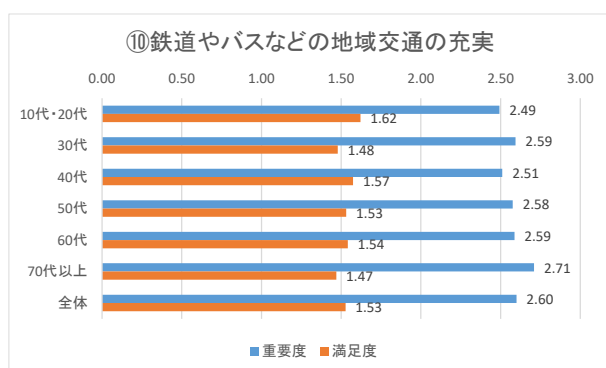
「自然環境と調和したまちづくり」では、満足度では70代以上で1.89と低く、重要度でも70代以上で2.23と高く、特に60・70代以上で重要度が高くなっている。



	重要度	満足度
10代・20代	2.09	2.00
30代	2.09	1.94
40代	2.12	1.98
50代	2.04	1.96
60代	2.22	1.91
70代以上	2.23	1.89
全体	2.15	1.94

⑩ 鉄道やバスなどの地域交通の充実

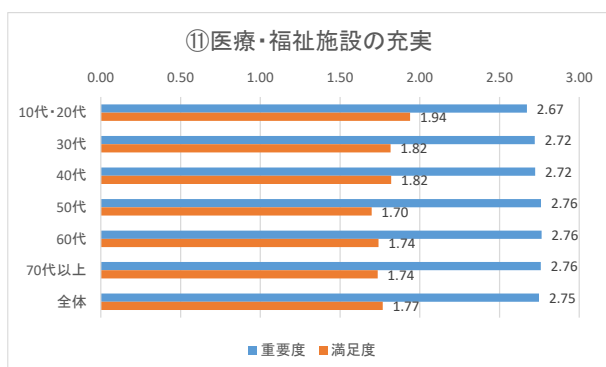
「鉄道やバスなどの地域交通の充実」では、満足度では70代以上で1.47と低く、重要度では70代以上が2.71と高くなっている。



	重要度	満足度
10代・20代	2.49	1.62
30代	2.59	1.48
40代	2.51	1.57
50代	2.58	1.53
60代	2.59	1.54
70代以上	2.71	1.47
全体	2.60	1.53

⑪ 医療・福祉施設の充実

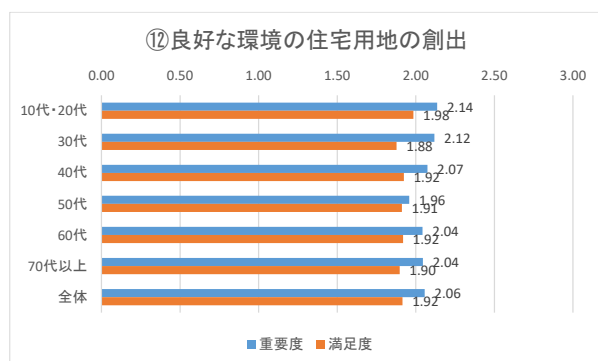
「医療・福祉施設の充実」では、満足度では50代が1.70と低く、重要度では50代、60代、70代以上が2.76と高くなっている。



	重要度	満足度
10代・20代	2.67	1.94
30代	2.72	1.82
40代	2.72	1.82
50代	2.76	1.70
60代	2.76	1.74
70代以上	2.76	1.74
全体	2.75	1.77

⑫ 良好な環境の住宅用地の創出

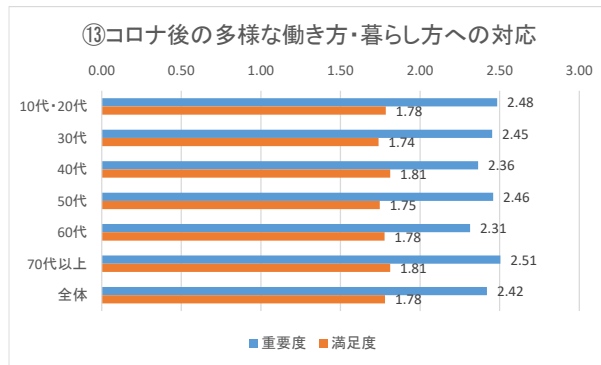
「良好な環境の住宅用地の創出」では、満足度では30代で1.88と低く、重要度では10・20代が2.14と高くなっている。



	重要度	満足度
10代・20代	2.14	1.98
30代	2.12	1.88
40代	2.07	1.92
50代	1.96	1.91
60代	2.04	1.92
70代以上	2.04	1.90
全体	2.06	1.92

⑬ コロナ後の多様な働き方・暮らし方への対応

「コロナ後の多様な働き方・暮らし方への対応」では、満足度では30代で1.47と低くなっている重要度では70代以上で高2.51と高くなっている。

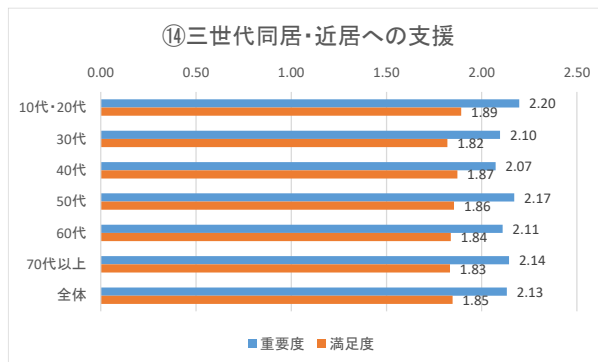


	重要度	満足度
10代・20代	2.48	1.78
30代	2.45	1.74
40代	2.36	1.81
50代	2.46	1.75
60代	2.31	1.78
70代以上	2.51	1.81
全体	2.42	1.78

⑭ 三世代同居・近居への支援

「三世代同居・近居への支援」では、満足度では年齢層での傾向はみられないが、30代で低く、10・20代で高くなっている。

重要度では50代で2.17と高くなっている。

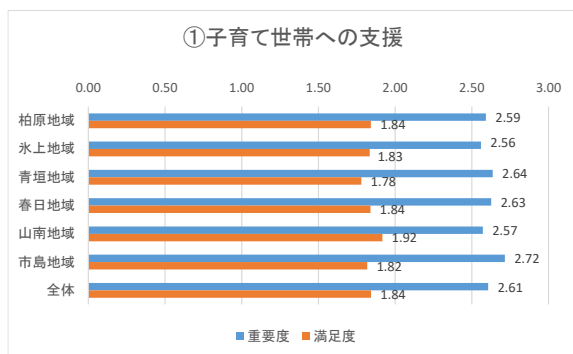


	重要度	満足度
10代・20代	2.20	1.89
30代	2.10	1.82
40代	2.07	1.87
50代	2.17	1.86
60代	2.11	1.84
70代以上	2.14	1.83
全体	2.13	1.85

2) お住まいの地域別（問 1）×住宅関連施策（問 20）

① 子育て世代への支援

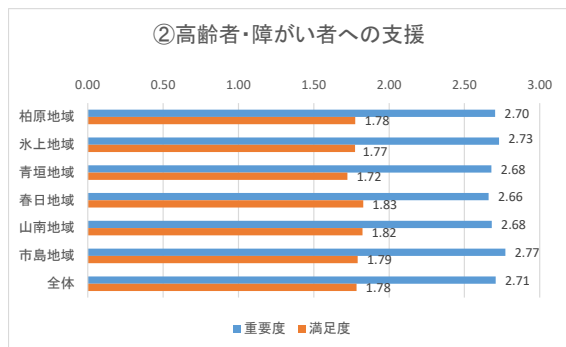
「子育て世代への支援」では、満足度では青垣地域が 1.78 と低く、重要度では市島地域が 2.72 と高くなっている。



	重要度	満足度
柏原地域	2.59	1.84
氷上地域	2.56	1.83
青垣地域	2.64	1.78
春日地域	2.63	1.84
山南地域	2.57	1.92
市島地域	2.72	1.82
全体	2.61	1.84

② 高齢者・障がい者への支援

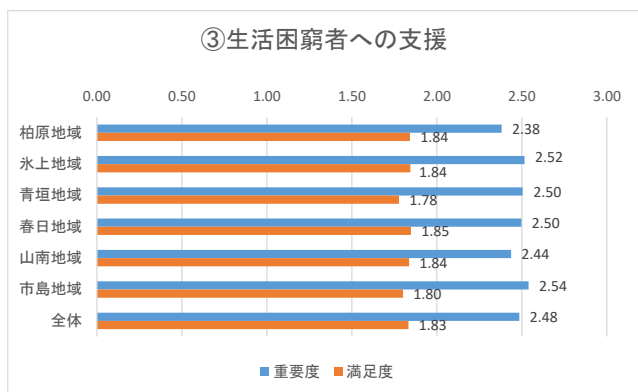
「高齢者・障がい者への支援」では、満足度では青垣地域が 1.72 と低く、市島地域で 2.77 と高くなっている。



	重要度	満足度
柏原地域	2.70	1.78
氷上地域	2.73	1.77
青垣地域	2.68	1.72
春日地域	2.66	1.83
山南地域	2.68	1.82
市島地域	2.77	1.79
全体	2.71	1.78

③ 生活困窮者への支援

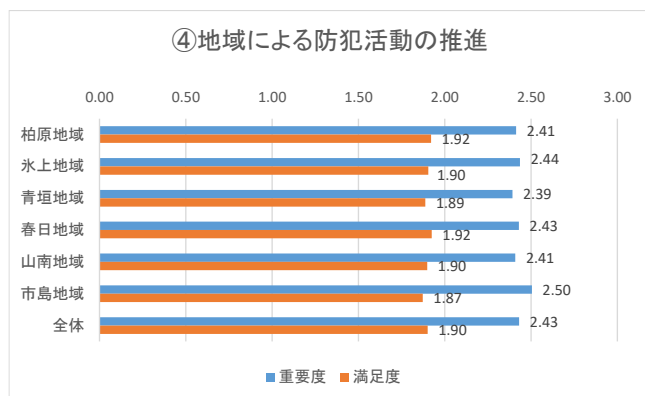
「生活困窮者の支援」では、満足度では青垣地域が 1.78 と低く、重要度では市島地域で 2.54 と高くなっている。



	重要度	満足度
柏原地域	2.38	1.84
氷上地域	2.52	1.84
青垣地域	2.50	1.78
春日地域	2.50	1.85
山南地域	2.44	1.84
市島地域	2.54	1.80
全体	2.48	1.83

④ 地域による防犯活動の推進

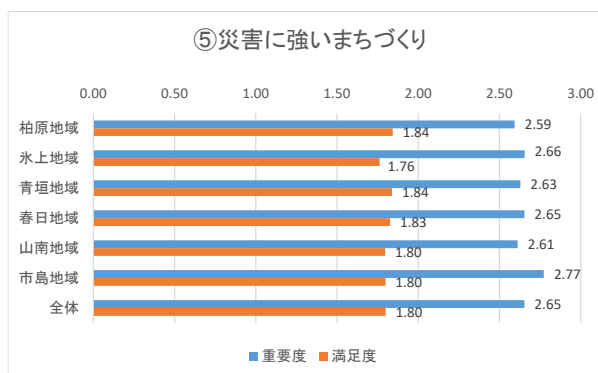
「地域による防犯活動の推進」では、満足度では市島地域が 1.87 と低く、重要度でも市島地域が 2.50 と高くなっている。



	重要度	満足度
柏原地域	2.41	1.92
氷上地域	2.44	1.90
青垣地域	2.39	1.89
春日地域	2.43	1.92
山南地域	2.41	1.90
市島地域	2.50	1.87
全体	2.43	1.90

⑤ 災害に強いまちづくり

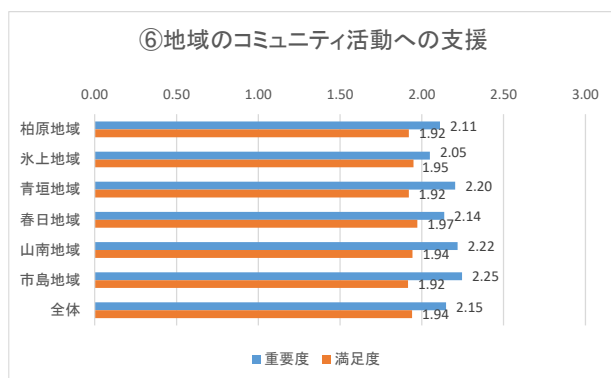
「災害に強いまちづくり」では、満足度では氷上地域が 1.76 と低く、重要度では市島地域が 2.77 と高くなっている。



	重要度	満足度
柏原地域	2.59	1.84
氷上地域	2.66	1.76
青垣地域	2.63	1.84
春日地域	2.65	1.83
山南地域	2.61	1.80
市島地域	2.77	1.80
全体	2.65	1.80

⑥ 地域のコミュニティ活動への支援

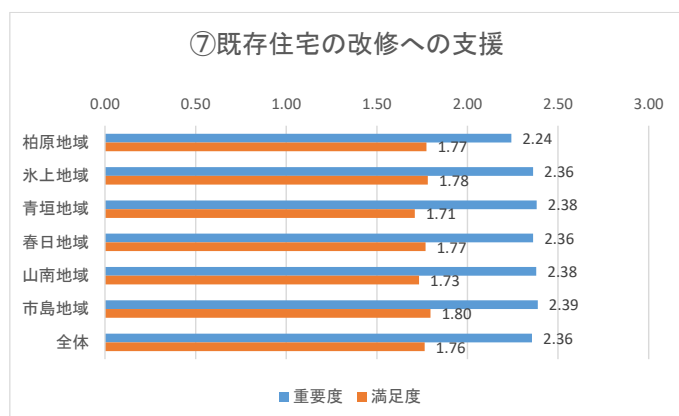
「地域のコミュニティ活動への支援」では、満足度では柏原地域が 1.92 と低く、市島地域が 2.25 と高くなっている。



	重要度	満足度
柏原地域	2.11	1.92
氷上地域	2.05	1.95
青垣地域	2.20	1.92
春日地域	2.14	1.97
山南地域	2.22	1.94
市島地域	2.25	1.92
全体	2.15	1.94

⑦ 既存住宅の改修への支援

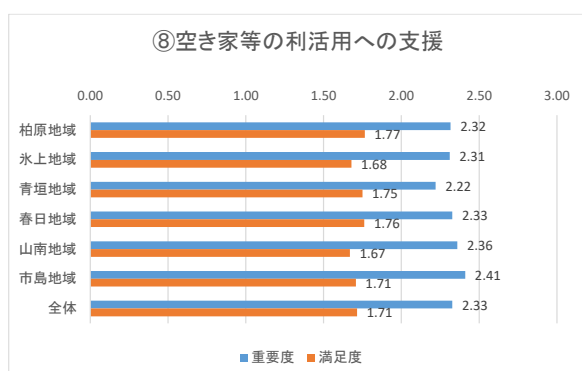
「既存住宅の改修への支援」では、満足度では青垣地域が 1.71 と低く、重要度では市島地域が 2.39 と高くなっている。



	重要度	満足度
柏原地域	2.24	1.77
氷上地域	2.36	1.78
青垣地域	2.38	1.71
春日地域	2.36	1.77
山南地域	2.38	1.73
市島地域	2.39	1.80
全体	2.36	1.76

⑧ 空き家等の利活用への支援

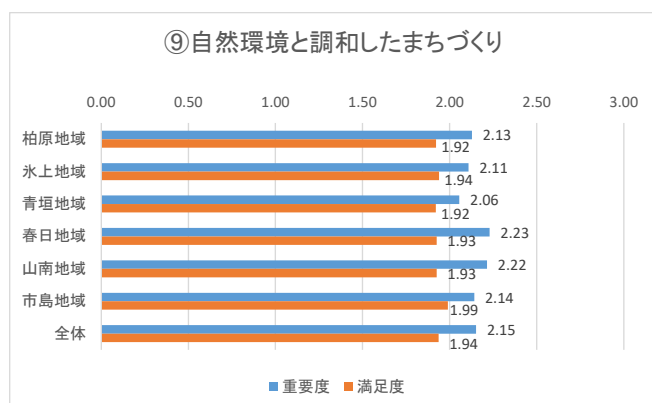
「空き家等の利活用の支援」では、満足度では山南地域が 1.67 と低く、重要度では市島地域が 2.41 と高くなっている。



	重要度	満足度
柏原地域	2.32	1.77
氷上地域	2.31	1.68
青垣地域	2.22	1.75
春日地域	2.33	1.76
山南地域	2.36	1.67
市島地域	2.41	1.71
全体	2.33	1.71

⑨ 自然環境と調和したまちづくり

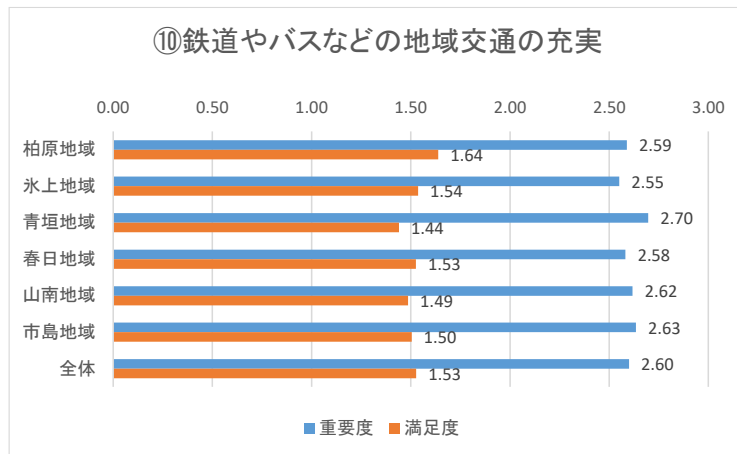
「自然環境と調和したまちづくり」では、満足度では柏原地域、青垣地域が 1.92 と低く、重要度では春日地域が 2.2 と高くなっている。ただし、特に満足度については地域間で大きな差はない。



	重要度	満足度
柏原地域	2.13	1.92
氷上地域	2.11	1.94
青垣地域	2.06	1.92
春日地域	2.23	1.93
山南地域	2.22	1.93
市島地域	2.14	1.99
全体	2.15	1.94

⑩ 鉄道やバスなどの地域交通の充実

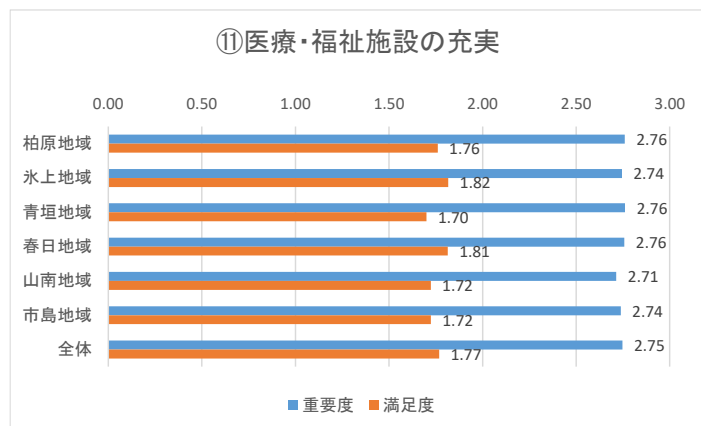
「鉄道やバスなどの地域交通の充実」では、満足度では青垣地域が 1.44 と低く、重要度でも青垣地域が 2.70 と高くなっている。



	重要度	満足度
柏原地域	2.59	1.64
氷上地域	2.55	1.54
青垣地域	2.70	1.44
春日地域	2.58	1.53
山南地域	2.62	1.49
市島地域	2.63	1.50
全体	2.60	1.53

⑪ 医療・福祉施設の充実

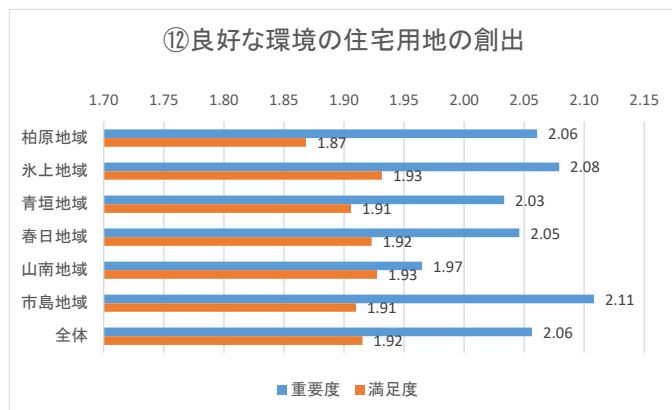
「医療・福祉施設の充実」では、満足度では青垣地域で 1.70 と低く、重要度では柏原地域、青垣地域、春日地域で 2.76 と高くなっている。



	重要度	満足度
柏原地域	2.76	1.76
氷上地域	2.74	1.82
青垣地域	2.76	1.70
春日地域	2.76	1.81
山南地域	2.71	1.72
市島地域	2.74	1.72
全体	2.75	1.77

⑫ 良好な環境の住宅用地の創出

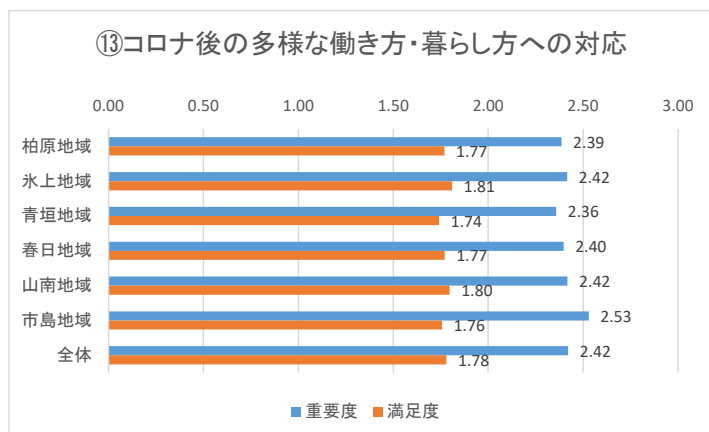
「良好な環境の住宅用地の創出」では、満足度では柏原地域が 1.87 と低く、重要度では市島地域が 2.11 と高くなっている。



	重要度	満足度
柏原地域	2.06	1.87
氷上地域	2.08	1.93
青垣地域	2.03	1.91
春日地域	2.05	1.92
山南地域	1.97	1.93
市島地域	2.11	1.91
全体	2.06	1.92

⑬ コロナ後の多様な働き方・暮らし方への対応

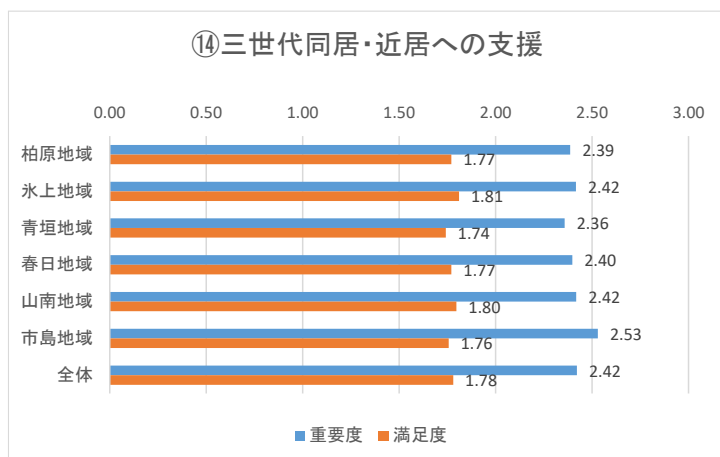
「コロナ後の多様な働き方・暮らし方への対応」では、満足度では青垣地域が 1.74 と低く、重要度では市島地域が 2.53 と高くなっている。



	重要度	満足度
柏原地域	2.39	1.77
氷上地域	2.42	1.81
青垣地域	2.36	1.74
春日地域	2.40	1.77
山南地域	2.42	1.80
市島地域	2.53	1.76
全体	2.42	1.78

⑭ 三世代同居・近居への支援

「三世代同居・近居への支援」では、満足度では青垣地域が 1.74 と低く、重要度では市島地域が 2.53 と高くなっている。

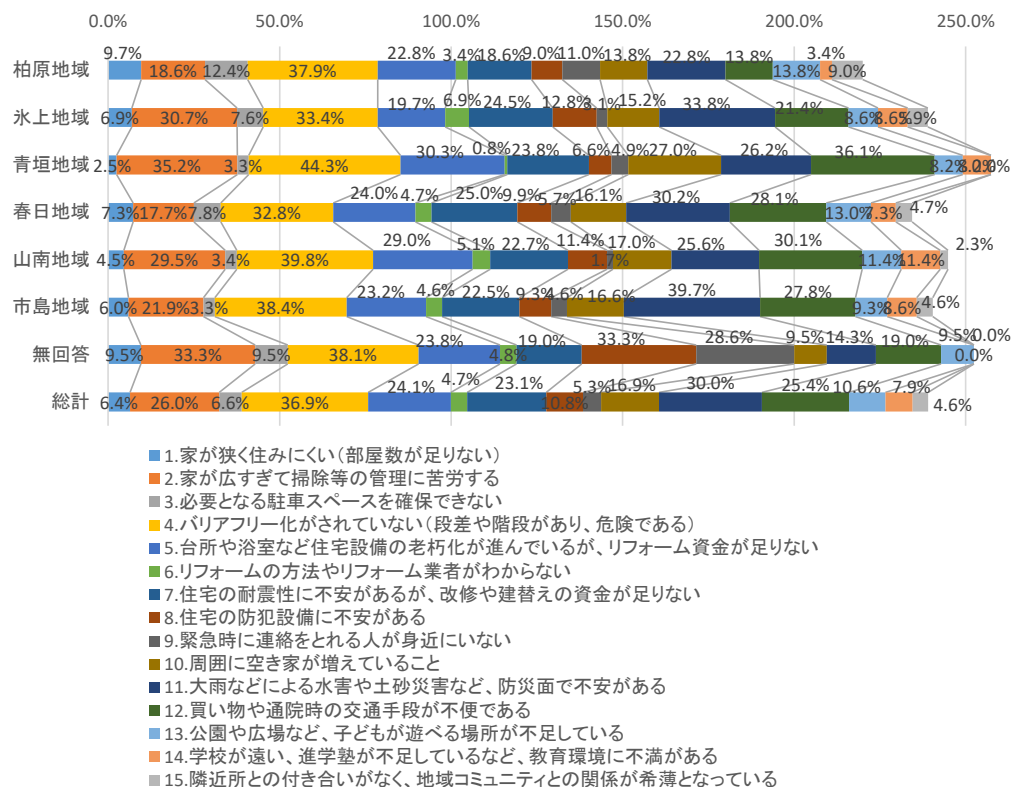


	重要度	満足度
柏原地域	2.07	1.85
氷上地域	2.10	1.88
青垣地域	2.04	1.87
春日地域	2.17	1.80
山南地域	2.16	1.82
市島地域	2.22	1.86
全体	2.13	1.85

(2) 問 17：困っている点についての分析

① 地域別（問 1）

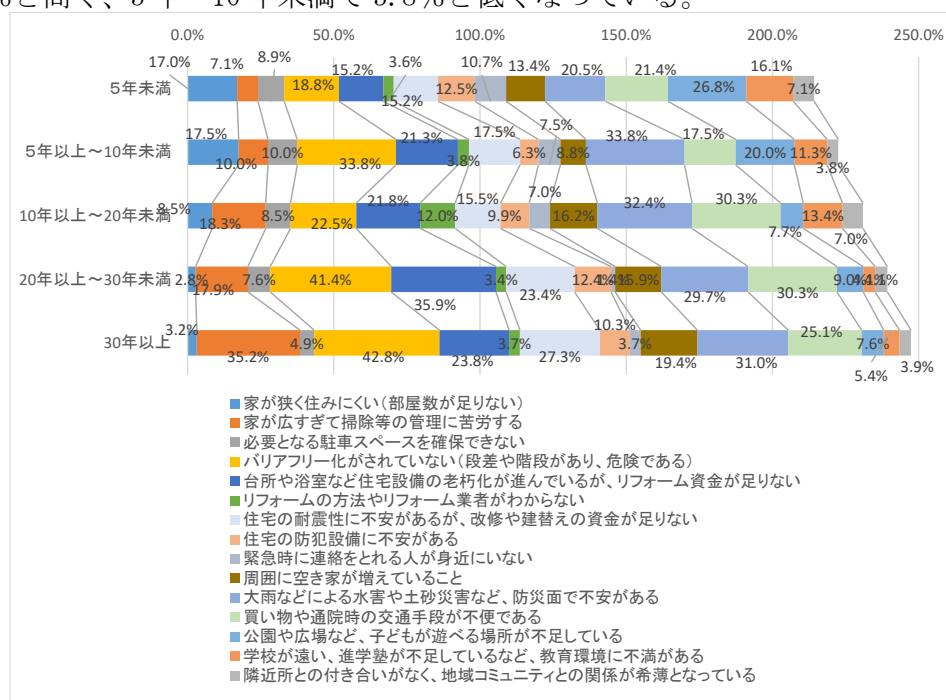
- ・「1. 家が狭く住みにくい」では、柏原地域で 9.7%と高く、青垣地域で 2.5%と低くなっている。
- ・「2. 家が広すぎて掃除等の管理に苦勞する」では、青垣地域で 35.2%、氷上地域で 30.7%と高く、春日地区で 17. %、柏原地域で 18.6%と低くなっている。
- ・「3. 必要となる駐車スペースを確保できない」では、柏原地域で 12.4%と高く、青垣地域で 3.3%、山南地域で 3.4%、市島地域で 3.3%と低くなっている。
- ・「4. バリアフリー化されていない」では、青垣地域で 44.3%と高く、氷上地域で 33.4%、春日地域で 32.8%と低くなっている。
- ・「5. 台所や浴室など住宅設備の老朽化が進んでいるが、リフォーム資金が足りない」では、青垣地域で 30.3%と高く、氷上地域で 19.7%と低くなっている。
- ・「6. リフォームの方法やリフォーム業者がわからない」では、氷上地域で 6.9%と高く、青垣地域で 0.8%と低くなっている。
- ・「7. 住宅の耐震性に不安があるが、改修や建替えの資金が足りない」では、春日地域で 25.0%、氷上地域で 24.5%と高く、柏原地域で 18.6%と低くなっている。
- ・「8. 住宅の防犯設備に不安がある」では、氷上地域で 12.8%と高く、青垣地域で 6.6%と低くなっている。
- ・「9. 緊急時に連絡を取れる人が身近にいない」では、柏原地域で 11.0%と高く、氷上地域で 3.1%、山南地域で 1.7%と低くなっている。
- ・「10. 周囲に空き家が増えていること」では、青垣地域で 27.0%と高く、柏原地域で 13.8%と低くなっている。
- ・「11. 大雨などによる水害や土砂災害など、防災面で不安がある」では、市島地域で 36.1%と高く、柏原地域で 22.8%と低くなっている。
- ・「12. 買い物や通院時の交通手段が不便である」では、青垣地域で 27.0%と高く、柏原地域で 13.8%と低くなっている。
- ・「13. 公園や広場など、子どもが遊べる場所が不足している」では、柏原地域で 13.8%、春日地域で 13.0%と高く、氷上地域で 8.6%、青垣地域で 8.2%と低くなっている。
- ・「14. 学校が遠い、進学塾が不足しているなど、教育環境に不満がある」では、山南地域で 11.4%と高く、氷上地域で 8.6%、柏原地域で 3.4%と低くなっている。
- ・「15. 隣近所との付き合いがなく、地域コミュニティとの関係が希薄となっている」では、柏原地域で 9.0%と高く、青垣地域で 0.0%と低くなっている。



	柏原地域	氷上地域	青垣地域	春日地域	山南地域	市島地域	無回答	総計
家が狭く住みにくい(部屋数が足りない)	14	20	3	14	8	9	2	70
家が広すぎて掃除等の管理に苦勞する	27	89	43	34	52	33	7	285
必要となる駐車スペースを確保できない	18	22	4	15	6	5	2	72
バリアフリー化がされていない(段差や階段があり、危険である)	55	97	54	63	70	58	8	405
台所や浴室など住宅設備の老朽化が進んでいるが、リフォーム資金が足りない	33	57	37	46	51	35	5	264
リフォームの方法やリフォーム業者がわからない	5	20	1	9	9	7	1	52
住宅の耐震性に不安があるが、改修や建替えの資金が足りない	27	71	29	48	40	34	4	253
住宅の防犯設備に不安がある	13	37	8	19	20	14	7	118
緊急時に連絡をとれる人が身近にいない	16	9	6	11	3	7	6	58
周囲に空き家が増えていること	20	44	33	31	30	25	2	185
大雨などによる水害や土砂災害など、防災面で不安がある	33	98	32	58	45	60	3	329
買い物や通院時の交通手段が不便である	20	62	44	54	53	42	4	279
公園や広場など、子どもが遊べる場所が不足している	20	25	10	25	20	14	2	116
学校が遠い、進学塾が不足しているなど、教育環境に不満がある	5	25	10	14	20	13	0	87
隣近所との付き合いがなく、地域コミュニティとの関係が希薄となっている	13	17	0	9	4	7	0	50
その他	11	20	4	12	8	15	2	72
無回答	135	220	78	156	143	102	17	851
総計	465	933	396	618	582	480	72	3546
回答者数	145	290	122	192	176	151	21	1097

②居住年別（問8）

- ・「1. 家が狭く住みにくい」では、5年未満で17.0%、5年以上～10年未満で17.5%と高く、20年以上～30年未満で2.8%、30年以上で3.2%と低く、居住年が少ない方が高い値となっている。
- ・「2. 家が広すぎて掃除等の管理に苦勞する」では、5年未満で7.1%、5年以上～10年未満で10.0%と低く、20年以上～30年未満で17.9%、30年以上で35.2%と低く、居住年が多い方が高い値となっている。
- ・「3. 必要となる駐車スペースを確保できない」では、5年未満で8.0%、5年以上～10年未満で10.0%と高く、20年以上～30年未満で7.6%、30年以上で4.9%と低く、居住年が少ない方が高い値となっている。
- ・「4. バリアフリー化されていない」では、20年以上～30年未満で41.4%、30年以上で42.8%と高く、5年未満で18.8%と、居住年が多い方が高い値となっている。
- ・「5. 台所や浴室など住宅設備の老朽化が進んでいるが、リフォーム資金が足りない」では、20年以上～30年未満で35.9%と高く、5年未満で15.2%と、居住年が多い方が高い値となっている。
- ・「6. リフォームの方法やリフォーム業者がわからない」では、10年以上～20年未満で12.0%と高く、それ以外では3～4%程度となっている。
- ・「7. 住宅の耐震性に不安があるが、改修や建替えの資金が足りない」では、30年以上で27.3%、20年～30年未満で23.4%と高く、5年未満で15.2%と低く、居住年が多い方が高い値となっている。
- ・「8. 住宅の防犯設備に不安がある」では、5年未満で12.5%、20年以上～30年未満で12.4%と高く、5年～10年未満で8.8%と低く、居住年が多いほど高い値となっている。
- ・「9. 緊急時に連絡を取れる人が身近にいない」では、5年未満で10.7%と高く、20年～30年未満で1.4%、30年以上で3.7%と低く、居住年が少ない方が高い傾向にある。
- ・「10. 周囲に空き家が増えていること」では、30年以上で19.4%、20～30年未満で15.9%と高く、20年～30年未満で1.4%、30年以上で3.7%と低く、居住年が少ない方が高い傾向にある。
- ・「11. 大雨などによる水害や土砂災害など、防災面で不安がある」では、5年～10年未満で33.8%と高く、5年未満で20.4%と低くなっている。
- ・「12. 買い物や通院時の交通手段が不便である」では、10年～20年未満、20年～30年未満ともに30.3%と高く、5年～10年未満で17.5%と低くなっている。
- ・「13. 公園や広場など、子どもが遊べる場所が不足している」では、5年未満で26.8%と高く、30年以上で7.6%と低く、居住年が少ない方が高い傾向にある。
- ・「14. 学校が遠い、進学塾が不足しているなど、教育環境に不満がある」では、5年未満で16.1%と高く、20年～30年未満で4.1%、30年以上で5.4%と低く、居住年が少ない方が高い傾向にある。
- ・「15. 隣近所との付き合いがなく、地域コミュニティとの関係が希薄となっている」では、5年未満で7.1%と高く、5年～10年未満で3.8%と低くなっている。

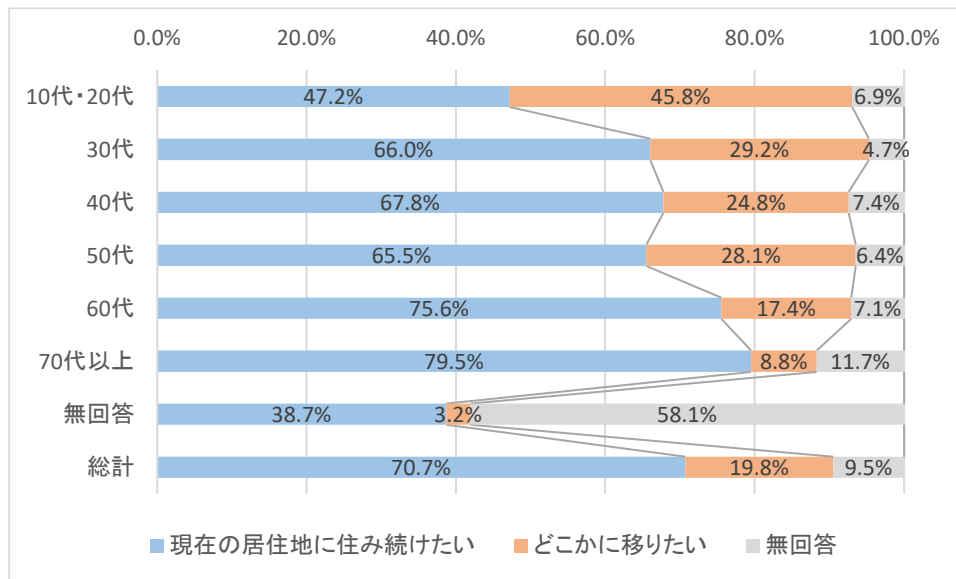


	5年未満	5年以上～ 10年未満	10年以上～ 20年未満	20年以上～ 30年未満	30年以上	無回答	総計
家が狭く住みにくい(部屋数が足りない)	17.0%	17.5%	8.5%	2.8%	3.2%	8.0%	6.4%
家が広すぎて掃除等の管理に苦労する	7.1%	10.0%	18.3%	17.9%	35.2%	32.0%	26.0%
必要となる駐車スペースを確保できない	8.9%	10.0%	8.5%	7.6%	4.9%	8.0%	6.6%
バリアフリー化がされていない(段差や階段があり、危険である)	18.8%	33.8%	22.5%	41.4%	42.8%	44.0%	36.9%
台所や浴室など住宅設備の老朽化が進んでいるが、リフォーム資金が足りない	15.2%	21.3%	21.8%	35.9%	23.8%	24.0%	24.1%
リフォームの方法やリフォーム業者がわからない	3.6%	3.8%	12.0%	3.4%	3.7%	4.0%	4.7%
住宅の耐震性に不安があるが、改修や建替えの資金が足りない	15.2%	17.5%	15.5%	23.4%	27.3%	16.0%	23.1%
住宅の防犯設備に不安がある	12.5%	6.3%	9.9%	12.4%	10.3%	24.0%	10.8%
緊急時に連絡をとれる人が身近にいない	10.7%	7.5%	7.0%	1.4%	3.7%	24.0%	5.3%
周囲に空き家が増えていること	13.4%	8.8%	16.2%	15.9%	19.4%	8.0%	16.9%
大雨などによる水害や土砂災害など、防災面で不安がある	20.5%	33.8%	32.4%	29.7%	31.0%	24.0%	30.0%
買い物や通院時の交通手段が不便である	21.4%	17.5%	30.3%	30.3%	25.1%	20.0%	25.4%
公園や広場など、子どもが遊べる場所が不足している	26.8%	20.0%	7.7%	9.0%	7.6%	4.0%	10.6%
学校が遠い、進学塾が不足しているなど、教育環境に不満がある	16.1%	11.3%	13.4%	4.1%	5.4%	12.0%	7.9%
隣近所との付き合いがなく、地域コミュニティとの関係が希薄となっている	7.1%	3.8%	7.0%	4.1%	3.9%	0.0%	4.6%
その他	11.6%	12.5%	8.5%	5.5%	4.6%	8.0%	6.6%
無回答	98.2%	87.5%	88.0%	82.1%	68.3%	88.0%	0
回答者数	112	80	142	145	593	25	1097

(3) 定住意向の分析

① 年齢別（問1）

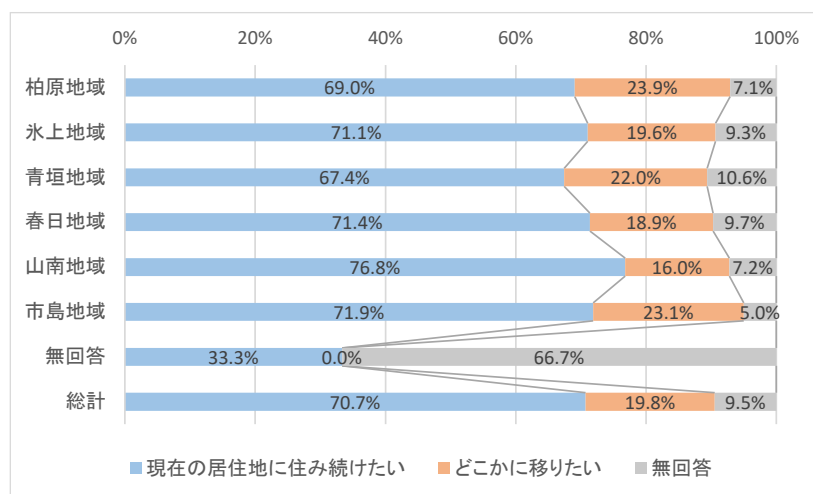
- 年齢別での定住意向についてみると、10・20代では「現在の居住地に住み続けたい」は47.2%、「どこかに移りたい」は45.8%とほぼ同数となっているが、年代が上がるに従い、定住意向は高まり、70代以上では79.5%が「現在の居住地に住み続けたい」と回答している。



	10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	総計
現在の居住地に住み続けたい	47.2%	66.0%	67.8%	65.5%	75.6%	79.5%	38.7%	70.7%
どこかに移りたい	45.8%	29.2%	24.8%	28.1%	17.4%	8.8%	3.2%	19.8%
無回答	6.9%	4.7%	7.4%	6.4%	7.1%	11.7%	58.1%	9.5%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

② 地域別

- 地域別での定住意向についてみると、「現在の居住地に住み続けたい」では山南地域が76.8%と他の地域に比べて高くなっているが、他の地域も70%前後となっている。「どこかに移りたい」は山南地域が16.0%と低く、柏原地域、青垣地域、市島地域が22~23%程度と高くなっている。



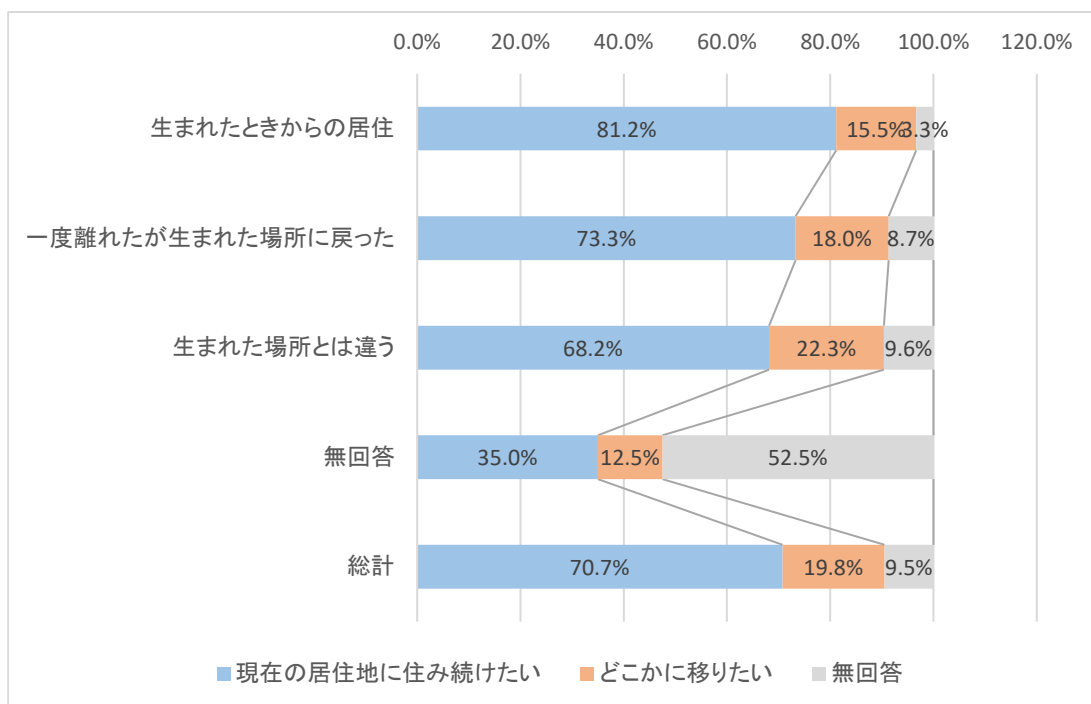
	柏原地域	氷上地域	青垣地域	春日地域	山南地域	市島地域	無回答	総計
現在の居住地に住み続けたい	69.0%	71.1%	67.4%	71.4%	76.8%	71.9%	33.3%	70.7%
どこかに移りたい	23.9%	19.6%	22.0%	18.9%	16.0%	23.1%	0.0%	19.8%
無回答	7.1%	9.3%	10.6%	9.7%	7.2%	5.0%	66.7%	9.5%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(4) U・I ターン者に関する分析

- ・U・I ターンした人についての意識を分析する。問 10「今のお住まいは生まれた家と同じ場所ですか」の設問の選択肢で、「一度離れたが生まれた場所に戻った」がUターン、「生まれた場所とは違う」がIターンとみなして他設問とのクロス集計を行う。

①今のお住まいは生まれた場所と同じですか（問 10）×これからも現在の居住地に住みたいですか（問 21）

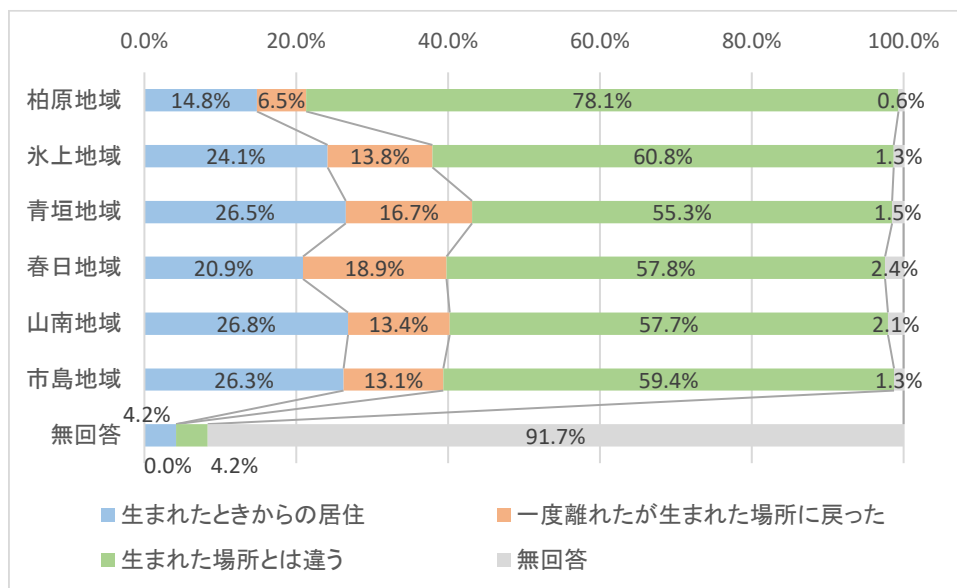
- ・「生まれたときからの居住」との回答者で「現在の居住地に住み続けたい」との回答は 81.2%、「一度離れたが生まれた場所に戻った＝U ターン」が同じく 73.3%、「生まれた場所とは違う＝I ターン」が同じく 68.2%という結果であり、当地との関わり方の深い方が、定住志向が高い結果となっている。



	現在の居住地に住み続けたい	どこかに移りたい	無回答	総計
生まれたときからの居住	220	42	9	271
一度離れたが生まれた場所に戻った	118	29	14	161
生まれた場所とは違う	484	158	68	710
無回答	14	5	21	40
総計	836	234	112	1182

②お住まいの地域別（問 1） × （今のお住まいは生まれた場所と同じですか（問 10）

- ・「生まれたときからの居住」が多いのは青垣地域、山南地域、市島地域の約 26%で、最も少ない柏原地域の 14.8%とは 11%程度の開きがある。
- ・柏原地域は「生まれた場所が違う＝I ターン」が最も多く、78.1%となっている。最も少ない青垣地域でも 55.3%と過半数を占めている。

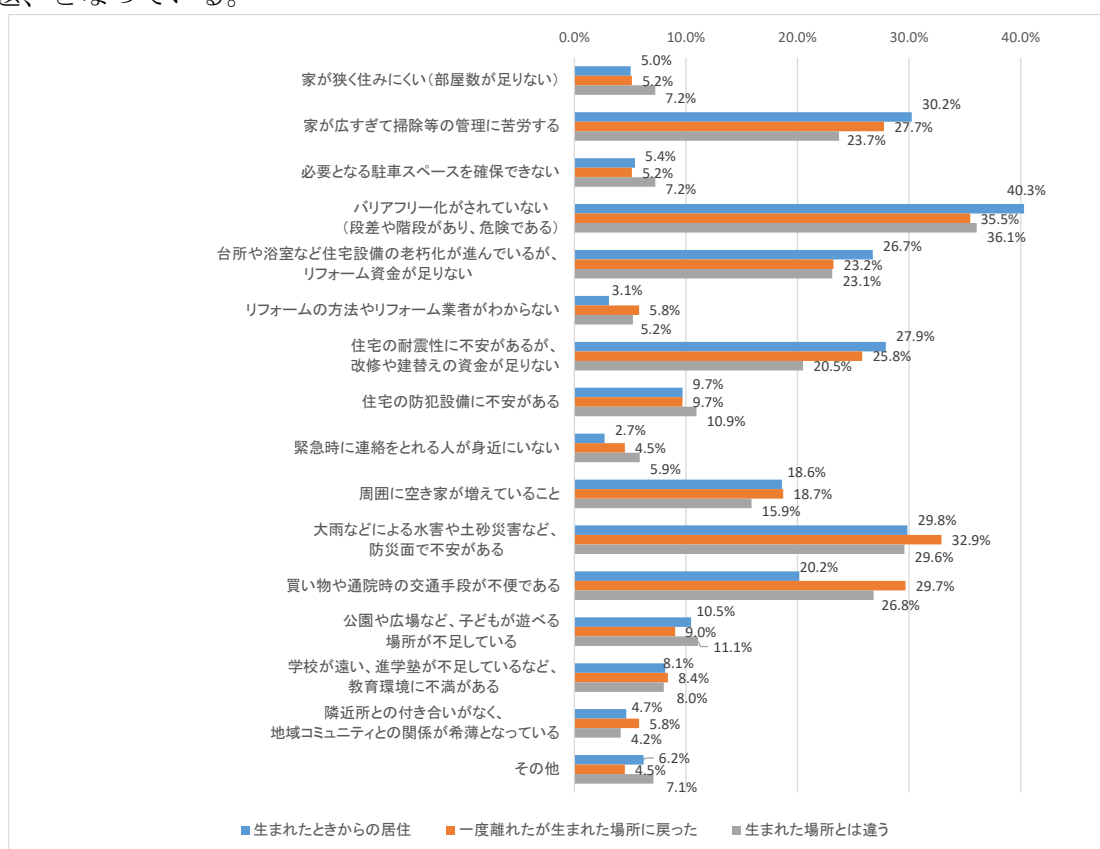


	柏原地域	氷上地域	青垣地域	春日地域	山南地域	市島地域	無回答	総計
生まれたときからの居住	23	75	35	43	52	42	1	271
一度離れたが生まれた場所に戻った	10	43	22	39	26	21		161
生まれた場所とは違う	121	189	73	119	112	95	1	710
無回答	1	4	2	5	4	2	22	40
総計	155	311	132	206	194	160	24	1182

③今のお住まいは生まれた場所と同じですか（問 10） × （現在居住している住宅に住み続ける上で、不安に思っていることや困っていることはありますか（問 17）

・次にU・I ターン者が居住上どのような点に不安を感じているかを把握するため、問 17「現在居住している住宅に住み続ける上で、不安に思っていることや困っていることはありますか」との関係性を把握した。

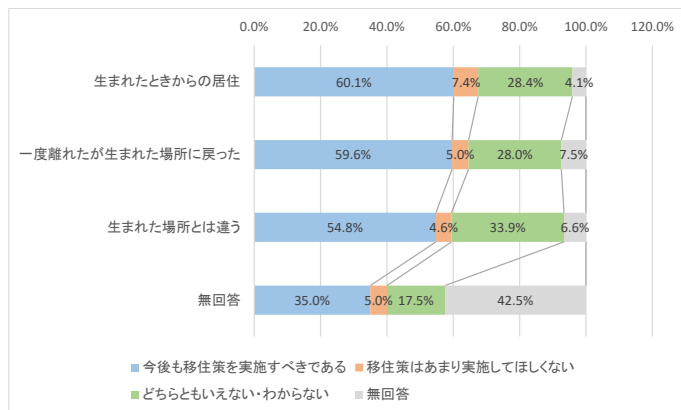
- ・「生まれた時からの居住者」にくらべて不安の高い項目としては、「買い物や通院時での交通手段が不便である」について、「生まれた時からの居住者」が 20.2%に対し、「一度離れたが生まれた場所に戻った＝U ターン」が同じく 29.7%、「生まれた場所とは違う＝I ターン」が同じく 26.8%という結果である。
- ・同様に「生まれた時からの居住」よりも U・I ターン者の不安が高い主な項目としては、「家が狭く住みにくい」、「必要となる駐車スペースが確保できない」いずれも「生まれた場所とは違う＝I ターン」、といった居住施設の問題、「緊急時に連絡を取れる人が身近にいない」、「隣近所と付き合いがなく地域コミュニティとの関係が希薄になっている」といったコミュニティに関する課題、また「大雨などによる水害や土砂災害など防災面で不安である」の防災面に関する課題、となっている。



	生まれたときからの居住	一度離れたが生まれた場所に戻った	生まれた場所とは違う	無回答	総計
家が狭く住みにくい(部屋数が足りない)	13	8	47	2	70
家が広すぎて掃除等の管理に苦労する	78	43	154	10	285
必要となる駐車スペースを確保できない	14	8	47	3	72
バリアフリー化がされていない(段差や階段があり、危険である)	104	55	234	12	405
台所や浴室など住宅設備の老朽化が進んでいるが、リフォーム資金が足りない	69	36	150	9	264
リフォームの方法やリフォーム業者がわからない	8	9	34	1	52
住宅の耐震性に不安があるが、改修や建替えの資金が足りない	72	40	133	8	253
住宅の防犯設備に不安がある	25	15	71	7	118
緊急時に連絡をとれる人が身近にいない	7	7	38	6	58
周囲に空き家が増えていること	48	29	103	5	185
大雨などによる水害や土砂災害など、防災面で不安がある	77	51	192	9	329
買い物や通院時の交通手段が不便である	52	46	174	7	279
公園や広場など、子どもが遊べる場所が不足している	27	14	72	3	116
学校が遠い、進学塾が不足しているなど、教育環境に不満がある	21	13	52	1	87
隣近所との付き合いがなく、地域コミュニティとの関係が希薄となっている	12	9	27	2	50
その他	16	7	46	3	72
無回答	170	93	556	32	851
総計	813	483	2130	120	3546
回答者数	258	155	649	35	1097

④今のお住まいは生まれた場所と同じですか（問 10）×移住・定住施策についてどのようにお考えですか（問 24）

- ・「生まれた時からの居住」が、「今後も移住策を実施すべきである」、「移住策はあまり実施してほしくない」のいずれも他よりも高い値となっている。



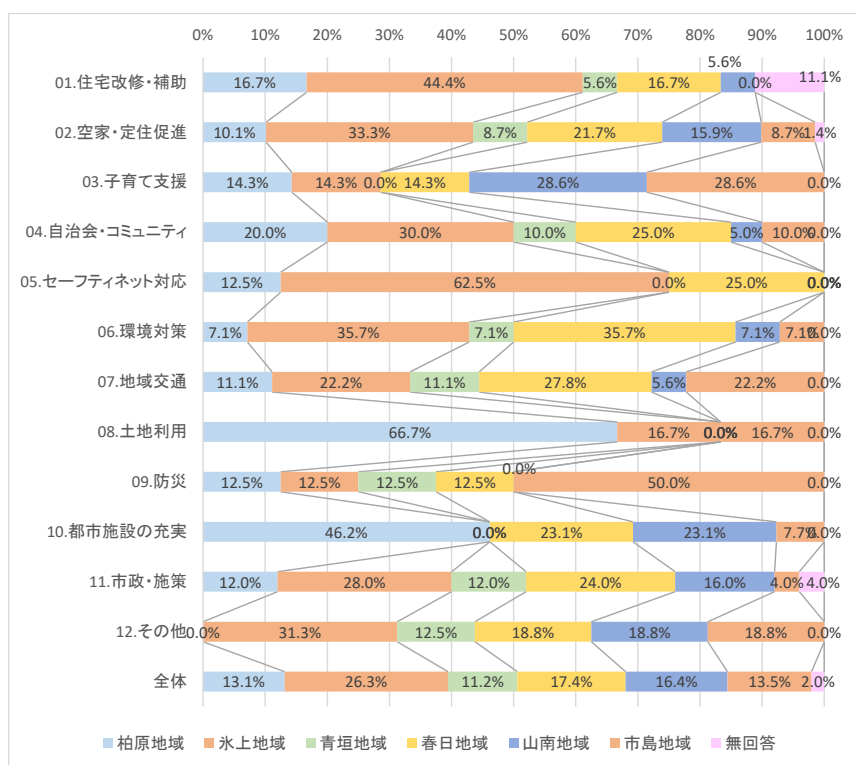
	生まれたときからの居住	一度離れたが生まれた場所に戻った	生まれた場所とは違う	無回答	総計
今後も移住策を実施すべきである	163	96	389	14	662
移住策はあまり実施してほしくない	20	8	33	2	63
どちらともいえない・わからない	77	45	241	7	370
無回答	11	12	47	17	87
総計	271	161	710	40	1182

(5) 自由回答に関する分析

自由回答のあった回答者が、どのような特性を持っているかについて、全体の構成比と自由回答の各回答割合を比較し、把握を行う。ただし、空家・定住に関する回答以外は回答数が少ないため、変動要素は大きい。

① 地域別（問 1）

- ・「住宅改修・補助」に関する意見では、氷上地域が 44.4% で、全体での 26.3% よりも高い意見となっており、「住宅改修・補助」に対する関心が高い。
- ・「空家・定住促進」に関しては、顕著な地域的な傾向はみられない。ほぼ全体の地域別の構成と同様となっている。
- ・「子育て支援」に関しては、山南地域、市島地域が 28.6% と占める割合が高くなっている。
- ・「自治会・コミュニティ」については、氷上地域で 30.0%、春日地域で 25.0% と占める割合が高くなっている。
- ・「セーフティネット」に関しては、氷上地域が 62.5% と占める割合が高くなっている。
- ・「環境対策」に関しては、氷上地域、春日地域が 35.7% と占める割合が高くなっている。
- ・「地域交通」に関しては、春日地域が 27.8%、市島地域が 22.2% と占める割合が高くなっている。
- ・「土地利用」に関しては柏原地域が 66.7% と大部分を占めている。
- ・「防災」に関しては、市島地域が 50.0% と大部分を占めている。
- ・「都市施設の充実」に関しては、柏原地域が 46.2% と高い割合を占めている。
- ・「市政・施策」に関しては、顕著な地域的な傾向はみられない。ほぼ全体の地域別の構成と同様となっている。

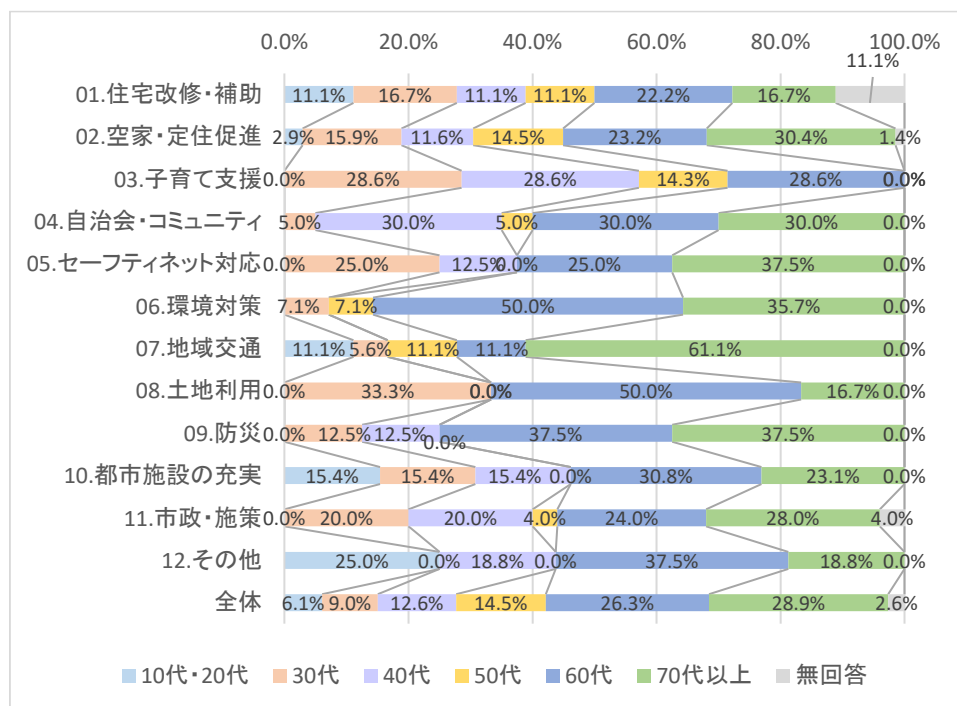


	柏原地域	氷上地域	青垣地域	春日地域	山南地域	市島地域	無回答	総計
01.住宅改修・補助	3	8	1	3	1		2	18
02.空家・定住促進	7	23	6	15	11	6	1	69
03.子育て支援	1	1		1	2	2		7
04.自治会・コミュニティ	4	6	2	5	1	2		20
05.セーフティネット対応	1	5		2				8
06.環境対策	1	5	1	5	1	1		14
07.地域交通	2	4	2	5	1	4		18
08.土地利用	4	1				1		6
09.防災	1	1	1	1		4		8
10.都市施設の充実	6			3	3	1		13
11.市政・施策	3	7	3	6	4	1	1	25
12.その他		5	2	3	3	3		16
全体	155	311	132	206	194	160	24	1182

※数値は該当する項目に関する回答件数、全体の各数値は、各地域の回答数（問 1 での回答）

② 年代別（問2）

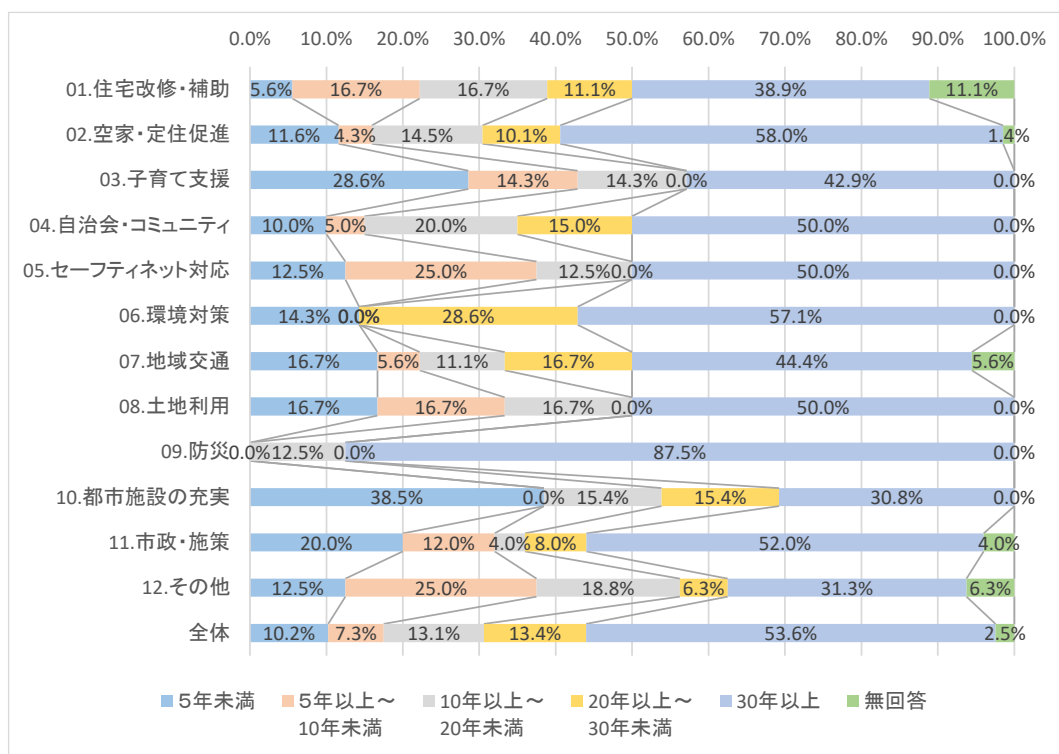
- ・「住宅改修・補助」に関する意見では、10・20代で11.1%、30代で16.7%と、全体でのそれぞれ6.1%、9.0%よりも高い意見となっている。
- ・「空家・定住促進」に関しては、30代が15.9%、70代以上が30.4%と高い割合を占めている。
- ・「子育て支援」に関しては、30代、40代がともに28.6%と占める割合が高くなっている。
- ・「自治会・コミュニティ」については、40代が30.0%と占める割合が高くなっている。
- ・「セーフティネット」に関しては、30代が25.0%、70代以上が37.5%と占める割合が高くなっている。
- ・「環境対策」に関しては、60代が50.0%、70代以上が35.7%と占める割合が高くなっている。
- ・「地域交通」に関しては、70代以上が61.1%と占める割合が高くなっている。
- ・「土地利用」に関しては30代が33.3%、60代が50.0%と占める割合が高くなっている。
- ・「防災」に関しては、60代、70代以上が37.5%と占める割合が高くなっている。
- ・「都市施設の充実」に関しては、10・20代、30代で15.4%、60代が30.8%と占める割合が高くなっている。
- ・「市政・施策」に関しては、30代、40代で20.0%と占める割合が高くなっている。



	10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	総計
01.住宅改修・補助	2	3	2	2	4	3	2	18
02.空家・定住促進	2	11	8	10	16	21	1	69
03.子育て支援		2	2	1	2			7
04.自治会・コミュニティ		1	6	1	6	6		20
05.セーフティネット対応		2	1		2	3		8
06.環境対策		1		1	7	5		14
07.地域交通	2	1		2	2	11		18
08.土地利用		2			3	1		6
09.防災		1	1		3	3		8
10.都市施設の充実	2	2	2		4	3		13
11.市政・施策		5	5	1	6	7	1	25
12.その他	4		3		6	3		16
全体	72	106	149	171	311	342	31	1182

③ 居住年別（問 8）

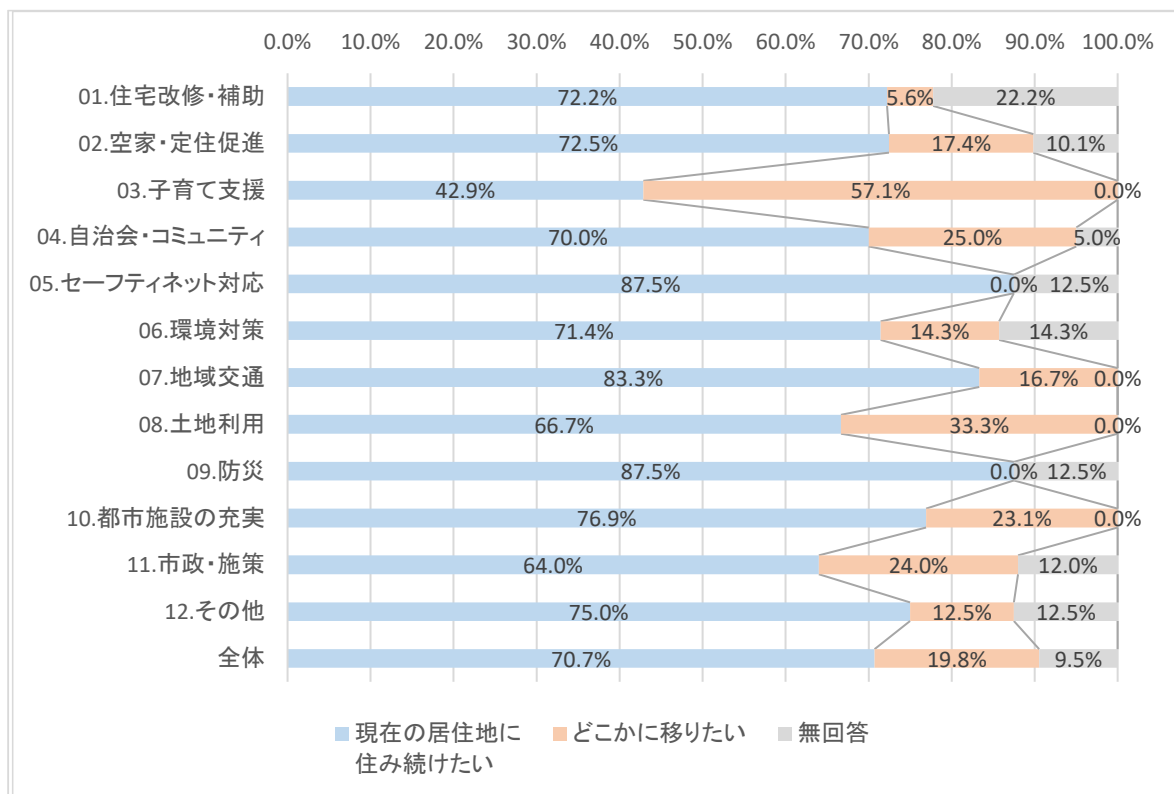
- ・「住宅改修・補助」に関する意見では、5～10 年未満、10～20 年未満で 16.7%と占める割合が高くなっている。
- ・「空家・定住促進」に関しては、全体の構成と同様の構成比となっているが、5 年未満が 11.6%、10～20 年未満が 14.5%と高い割合を占めている。
- ・「子育て支援」に関しては、5 年未満が 28.6%、5～10 年未満が 14.3%と高い割合を占めている。
- ・「自治会・コミュニティ」については、10～20 年未満が 20.0%、20～30 年未満が 15.0%と占める割合が高くなっている。
- ・「セーフティネット」に関しては、5～10 年未満が 25.0%、30 年以上が 50.0%と占める割合が高くなっている。
- ・「環境対策」に関しては、5 年未満が 14.3%、20～30 年未満が 28.6%、30 年以上が 57.1%と占める割合が高くなっている。
- ・「地域交通」に関しては、5 年未満、20～30 年未満が 16.7%と占める割合が高くなっている。
- ・「土地利用」に関しては 5 年未満、5～10 年未満が 16.7%と占める割合が高くなっている。
- ・「防災」に関しては、30 年以上が 87.5%と大半を占める結果となっている。
- ・「都市施設の充実」に関しては、5 年未満が 38.5%と占める割合が高くなっている。
- ・「市政・施策」に関しては、5 年未満が 20.0%、5～10 年未満が 12.0%と占める割合が高くなっている。



	5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～20年未満	20年以上～30年未満	30年以上	無回答	総計
01.住宅改修・補助	1	3	3	2	7	2	18
02.空家・定住促進	8	3	10	7	40	1	69
03.子育て支援	2	1	1		3		7
04.自治会・コミュニティ	2	1	4	3	10		20
05.セーフティネット対応	1	2	1		4		8
06.環境対策	2			4	8		14
07.地域交通	3	1	2	3	8	1	18
08.土地利用	1	1	1		3		6
09.防災			1		7		8
10.都市施設の充実	5		2	2	4		13
11.市政・施策	5	3	1	2	13	1	25
12.その他	2	4	3	1	5	1	16
全体	121	86	155	158	633	29	1182

④ 定住意向（問 21）

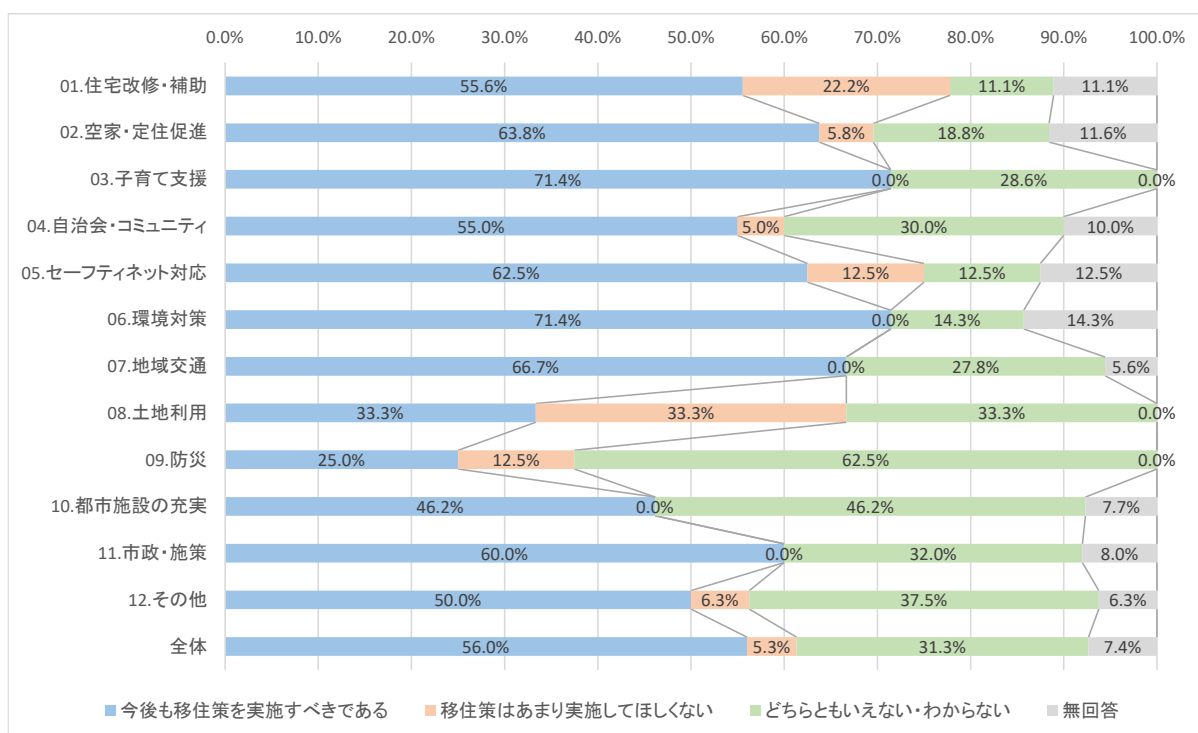
- ・「住宅改修・補助」に関する意見では、「現在の居住地に住み続けたい」が 72.2%と全体に比べ占める割合が高くなっている。
- ・「空家・定住促進」に関しては、「現在の居住地に住み続けたい」が 72.5%と全体に比べ占める割合が高くなっている。
- ・「子育て支援」に関しては、「どこかに移りたい」が 57.1%と占める割合が高くなっている。
- ・「自治会・コミュニティ」については、「どこかに移りたい」が 25.0%と占める割合が高くなっている。
- ・「セーフティネット」に関しては、「現在の居住地に住み続けたい」が 87.5%と占める割合が高くなっている。
- ・「環境対策」に関しては、「現在の居住地に住み続けたい」が 71.4%と占める割合が高くなっている。
- ・「地域交通」に関しては、「現在の居住地に住み続けたい」が 83.3%と占める割合が高くなっている。
- ・「土地利用」に関しては、「どこかに移りたい」が 33.3%と占める割合が高くなっている。
- ・「防災」に関しては、「現在の居住地に住み続けたい」が 87.5%と全体に比べ占める割合が高くなっている。
- ・「都市施設の充実」に関しては、「現在の居住地に住み続けたい」が 76.9%、「どこかに移りたい」が 23.1%といずれも占める割合が高くなっている。
- ・「市政・施策」に関しては、「どこかに移りたい」が 24.0%と占める割合が高くなっている。



	現在の居住地に住み続けたい	どこかに移りたい	無回答	総計
01.住宅改修・補助	13	1	4	18
02.空家・定住促進	50	12	7	69
03.子育て支援	3	4		7
04.自治会・コミュニティ	14	5	1	20
05.セーフティネット対応	7		1	8
06.環境対策	10	2	2	14
07.地域交通	15	3		18
08.土地利用	4	2		6
09.防災	7		1	8
10.都市施設の充実	10	3		13
11.市政・施策	16	6	3	25
12.その他	12	2	2	16
全体	836	234	112	1182

⑤ 定住策（問 24）

- ・「住宅改修・補助」に関する意見では、「移住策はあまり実施してほしくない」が 22.2%と全体に比べ占める割合が高くなっている。
- ・「空家・定住促進」に関しては、「今後も移住策を実施すべき」が 63.8%と全体に比べ占める割合が高くなっている。
- ・「子育て支援」に関しては、「今後も移住策を実施すべき」が 71.4%と全体に比べ占める割合が高くなっている。
- ・「自治会・コミュニティ」については、全体の構成比とほぼ同程度の構成比となっている。
- ・「セーフティネット」に関しては、「今後も移住策を実施すべき」が 62.5%、「移住策はあまり実施してほしくない」が 12.5%と両者ともに全体に比べ占める割合が高くなっている。
- ・「環境対策」に関しては、「今後も移住策を実施すべき」が 71.4%と占める割合が高くなっている。
- ・「地域交通」に関しては、「今後も移住策を実施すべき」が 66.7%と全体に比べ占める割合が高くなっている。
- ・「土地利用」に関しては、「移住策はあまり実施してほしくない」が 33.3%と全体に比べ占める割合が高くなっている。
- ・「防災」に関しては、「移住策はあまり実施してほしくない」が 12.5%と占める割合が高くなっている。「どちらともいえない」も高い割合となっている。
- ・「都市施設の充実」に関しては、「どちらともいえない」が 46.2%と占める割合が高くなっている。
- ・「市政・施策」に関しては、「今後も移住策を実施すべき」が 60.0%と全体に比べ占める割合が高くなっている。



	今後も移住策を実施すべきである	移住策はあまり実施してほしくない	どちらともいえない・わからない	無回答	総計
01.住宅改修・補助	10	4	2	2	18
02.空家・定住促進	44	4	13	8	69
03.子育て支援	5		2		7
04.自治会・コミュニティ	11	1	6	2	20
05.セーフティネット対応	5	1	1	1	8
06.環境対策	10		2	2	14
07.地域交通	12		5	1	18
08.土地利用	2	2	2		6
09.防災	2	1	5		8
10.都市施設の充実	6		6	1	13
11.市政・施策	15		8	2	25
12.その他	8	1	6	1	16
全体	662	63	370	87	1182